

大正十二年十二月六日

# ●徹底的應援に決す 勞働總同盟

## 岸和田三紡績爭議白熱せん

全國の工場鑛山に十五萬の會員を有する日本勞働總同盟は關西地方に頻發する同盟罷業の情勢に鑑み關西同盟會として本年悼尾の奮闘をなすべく十二月四日夜大阪聯合會事務所に緊急理事會を開會協議の結果滿場一致を以て左の如く徹底的應援を可決した。

一、目下勃發しつつある岸和田三紡績、桑畑電氣、日本亞鉛、日本織物新聞、九州戸畑旭ガラスの勞働爭議に對し總同盟は徹底的に之が應援をなす事

一、各聯合會、各組合の罷業基金より爭議應援の爲めに能ふ限りの義金を支出する事

一、形勢の如何に依り同盟會は適宜各組合より動員し年少闘士を派遣する事

一、野武士組の總動員をなす事

一、各聯合會に於て夫々爭議應援演說會を開會、飽くまで懸争工場の糾弾をなす事

## 官業勞働總同盟も亦起つ

總同盟傘下に於ける爭議の頻發に鑑み友誼團體なる官業勞働總同盟向上會及煙草勞働組合では相互扶助の精神に基き共同戦線に立つ事と決し先づその手初めとして來る七日午後六時より天王寺公會堂に岸和田三紡績其他爭議批判演說會を開會する事となつた。